

第113期 事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



株主優待のお知らせ

株主のみなさまの日頃のご愛顧に感謝し、また当社へのご理解を一層深め、株式を中長期的に保有していただくため、クオカードを贈呈いたします。

毎年3月31日現在の1単元以上保有(100株以上保有)の株主様に対し

●ご所有株式数500株から
2,499株まで

クオカード2,000円分

●ご所有株式数2,500株以上
クオカード3,000円分



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 配当金受領株主確定日 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 定時株主総会 6月中
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告
 公告掲載アドレス <https://www.daiwaj.com/>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お車のことは「大和グループ」へ!

ハイヤーと
福祉車両の
ご用命は…

大和自動車交通ハイヤー(株)へ!
 ハイヤー 銀座営業所 03(3561)1003
 日比谷営業所 03(3504)0511
 福祉車両 中央福祉営業所 03(3561)0182

タクシーでの
東京観光の
ご相談は

モビリティ推進室へ!
 03(6752)1515

タクシーの
ご用命は…

大和のタクシー配車センターへ!
 03(3563)5151
 スマホ配車アプリも好評!
 固定電話からIVR(自動配車受付)も便利です!
 お問い合わせはタクシー事業統括部へ
 ☎0120(788)363

◎LPG・ガソリン・自動車保険は

大和物産(株) 03(3641)8436
 LPGスタンド 03(3633)5332
 保険課 03(3641)8481

◎不動産・住宅のご相談は

(株)スリーディ 03(3561)3525

◎住宅建材は

大和工機(株) 055(347)1323

大和自動車交通株式会社

東京都江東区猿江二丁目16番31号

☎03 総務(5579)5901
 営業(6757)7171



大和自動車交通株式会社

株主のみなさまへ

第113期の事業報告を申しあげるにあたり、日頃ご理解とご支援をいただいております株主のみなさまに、ご挨拶申し上げます。

●連結会計年度の事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策、金融政策等により企業収益、雇用環境が緩やかな回復基調で推移しましたが、米中を中心とした通商問題の影響による海外経済の減速に加え、消費増税の影響等による消費者マインドの落ち込み、そして第4四半期に入ると新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による個人消費や外需の減少、東京オリンピック・パラリンピックの延期、政府による外出自粛要請等、景気は急速に悪化しており極めて厳しい状況にあります。

このような情勢の中、当社グループといたしましては、将来のモビリティのサービス化（MaaS）や自動運転分野の更なる発展による事業構造の大きな変化の流れに対応して行くため、2019年度を初年度とする中期3ヶ年経営計画「中期経営計画2021」に取り組んでおります。

当連結会計年度の売上高は、主要事業である旅客運送において、第4四半期における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛の影響等により利用客が大幅に減少したこと、及び恒常的な乗務員不足の影響で車両の稼働率が低下したことにより、前期比5.3%減の16,026百万円となりました。経費面においては、燃費効率の良い高性能車両の導入効果により燃料油脂費や資材費が減少したものの、営業利益は前期比83.2%減の63百万円、経常利益は前期比75.8%減の87百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、2019年4月に連結子会社である大和物産株式会社が所有するLPGスタンドを予定通り引渡しを完了し、固定資産売却益1,162百万円を特別利益に計上した結果、前期比159.7%増の635百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの業績をより適切に

評価するため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。以下の前期比較については、変更後の算定方法に基づき算定した前連結会計年度の数値を用いて比較しております。

①旅客自動車運送部門

タクシー部門では、第3四半期まで増加傾向にあった稼働台当りの売上高については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低下し、前期比で1.4%減少した上に、乗務員不足の影響による車両の稼働率が3.0%低下したこと、全タクシー子会社6社の売上高は前期比7.5%減の8,987百万円となりました。乗務員不足の課題解決の施策としては、引き続き新卒乗務員や女性乗務員の積極採用に取り組んでおります。営業面では、配車アプリによる事前確定運賃サービスを開始いたしました。このサービスは、乗車前に目的地までの運賃が確定するため、お客様の利便性が更に向上し、配車件数の増加に寄与しております。また、需要予測システムを全車両に搭載し運用開始いたしました。このシステムは乗客の多い場所を乗務員に知らせるため新人乗務員等の営業能力向上に繋がっております。また、後部座席タブレット端末やIPタブレット端末の導入並びに各種電子マネー会社との契約を推進し、様々な電子マネー決済手段に対応できるサービスの提供範囲を更に拡大いたしました。新たな事業展開としては、訪日外国人のお客様対応を目的とした多言語音声翻訳システム実証実験や、上海大衆グループとの提携による観光タクシーや空港送迎タクシーサービスを開始しております。引き続き、交通事業者としてモビリティのサービス化（MaaS）や自動運転分野の実証実験へ積極的に参画し、異業種との連携や地方自治体との意見交換を深めることで、新たな移動サービスの提供の実現に努めてまいります。輸送の安全確保面では、継続して乗務員教育を徹底したことや先進安全機能が搭載されたトヨタJPN-TAXI車両の導入を推進したことにより、追突事故等の有責事故件数が減少いたしました。加えて車両のドア形状がスライドドアであるため、お客様の乗降時の自転車等との接触事故件数も減少いたしました。

ハイヤー部門では、福祉輸送得意先の送迎車両台数が増加したことから、売上高は前期比2.4%増の2,710百万円となりました。経費面では、新規入社乗務員募集費や採用乗務員研修費、同業他社と

の価格競争に対処するための営業費用が増加いたしました。既存得意先に対して新たな料金体系を提案することにより、利益率の改善・向上に努めてまいりました。営業面では、新規得意先の開拓に加えて、過去の売上高資料分析から休眠得意先を掘り起こし、積極的に再訪問をすることで顧客基盤の充実・拡大に努めた結果、新規顧客や官公庁案件を獲得することができました。福祉輸送部門においては、サービスの向上と輸送の効率化等を図るため、児童送迎の配車予約や保護者へ車両到着の通知を送信できる福祉児童送迎配車アプリ「together」を構築・導入し、港区地区の対応車両全車運用を開始いたしました。また、乗務員不足の課題解決のため、乗務員未経験者に対する教育体制を構築するとともに、給与補償期間を延長することにいたしました。

タクシー部門とハイヤー部門等の旅客自動車運送事業売上高は前期比5.2%減の11,945百万円となり、第4四半期に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大による個人消費や外需の減少により営業損失は81百万円（前期は107百万円の営業利益）となりました。旅客自動車運送部門の最重要課題である乗務員確保、高齢化社会の到来に伴い多様化する生活サポート・福祉関連ニーズの高まりに応えるため、大和グループの総力を挙げ、「安心・安全、おもてなし」の更なる向上に努めてまいります。

②不動産部門

不動産事業では、引き続きテナントの要望に沿った施設の改善と当社基準の品質管理の徹底に努め、事業収益体制の増強に取り組んでおります。大手仲介不動産会社や各物件所在地元不動産会社と継続して積極的な情報交換を行うことにより、オフィスビル、マンション系ともに高い稼働率を維持しております。その結果、賃貸収入売上は堅調に推移したものの、販売用不動産売上が減少したため、不動産事業売上高は前期比0.5%減の931百万円となりました。営業利益につきましては、前期比5.6%増の577百万円となりました。

③販売部門

自動車燃料販売部門では、2019年3月に東京都墨田区のLPGスタンドを閉鎖しております。売上高の減少を最小限に抑えるため、他社スタンドの利用動向調査をもとに既存スタンドにおける販売促

進キャンペーンを実施するとともに、より一層のきめ細かいサービスを提供する等、顧客営業を強化しております。依然として原油価格が不安定に推移し、仕入原価が上昇しておりますが、営業利益の確保に向けて更なる業務の効率化に努めてまいります。金属製品製造販売部門では、安定的な収益基盤を確立するため、高利益率の見込める特注品等の受注生産を積極的に展開しております。共同出資企業のベトナム工場の生産高は堅調に推移しておりますが、住宅の建設面積の縮小から主力商品である標準階段の生産高が減少しました。その結果、販売事業売上高は前期比7.1%減の3,150百万円、営業利益は前期比43.3%減の46百万円となりました。

●当社の配当

当事業年度の剰余金の配当につきましては、中間配当金1株当たり8.0円、期末配当金1株当たり4.0円とし、年間12.0円といたしました。

●次期の見通し

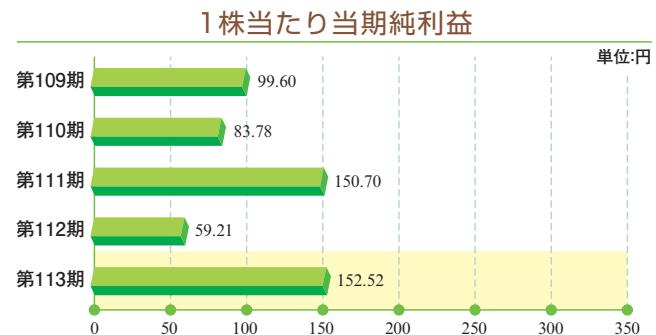
当社の中核事業である旅客運送事業を取り巻く環境は、モビリティのサービス化（MaaS）や自動運転分野の発展を背景に目まぐるしく変化しており、また、ドライバーの不足感も強まってきております。このような状況のもと、引き続き経営基盤の強化や人材の確保に努めるとともに、新たなビジネスチャンスに積極的に対応し、中長期的な成長のための基盤を確立するべく、2019年度を初年度とする中期3ヶ年経営計画「中期経営計画2021」を策定いたしました。その初年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて厳しいスタートとなりましたが、計画の達成に向けて、グループの総力を挙げて「安心・安全・おもてなし」と企業価値の更なる向上に取り組んでまいります。

2020年7月

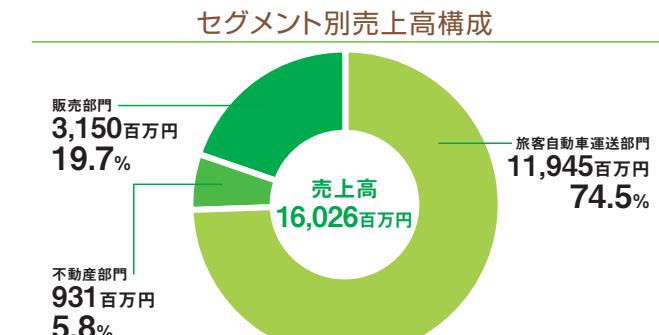
代表取締役社長

前島 忻治

財務ハイライト



注記 2019年10月1日を効力発生日として普通株式2株を1株とする割合で株式併合を実施したため第110期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



財務諸表 (連結)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	期別	
	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	3,031	3,469
固定資産	18,914	19,566
資産合計	21,946	23,035
負債の部		
流動負債	3,722	4,489
固定負債	9,961	9,686
負債合計	13,684	14,176
純資産の部		
株主資本	8,161	8,794
その他の包括利益累計額	55	20
非支配株主持分	45	43
純資産合計	8,262	8,858
負債・純資産合計	21,946	23,035

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	期別	
	前期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
売上高	16,928	16,026
売上原価	15,249	14,635
売上総利益	1,679	1,391
販売費及び一般管理費	1,301	1,327
営業利益	378	63
営業外収益	113	163
営業外費用	131	139
経常利益	360	87
特別利益	12	1,180
特別損失	0	103
税金等調整前当期純利益	372	1,164
法人税、住民税及び事業税	158	215
法人税等調整額	△31	314
当期純利益	246	634
非支配株主に帰属する当期純利益	1	0
親会社株主に帰属する当期純利益	244	635

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科目	期別	
	前期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	855	849
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,269	△193
現金及び現金同等物の増減額	△754	545
現金及び現金同等物の期首残高	1,694	940
現金及び現金同等物の期末残高	940	1,485

連結株主資本等変動計算書 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	525	10	8,826	△1,200	8,161	116	△38	△22	55	45	8,262
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△51	—	△51	—	—	—	—	—	△51
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	635	—	635	—	—	—	—	—	635
自己株式の取得	—	—	—	△40	△40	—	—	—	—	—	△40
自己株式の処分	—	—	△5	95	90	—	—	—	—	—	90
連結子会社株式の取得による持分の増減	—	0	—	—	0	—	—	—	—	—	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△58	10	13	△35	△1	△36
連結会計年度中の変動額合計	—	0	577	54	633	△58	10	13	△35	△1	596
当期末残高	525	10	9,404	△1,145	8,794	57	△28	△8	20	43	8,858

財務諸表 (単体)

貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	期別	
	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,425	1,708
固定資産	15,723	15,591
資産合計	17,148	17,300
負債の部		
流動負債	1,866	2,421
固定負債	7,672	7,135
負債合計	9,539	9,557
純資産の部		
株主資本	7,571	7,741
評価・換算差額等	37	1
純資産合計	7,608	7,743
負債・純資産合計	17,148	17,300

損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	期別	
	前期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
売上高及び営業収益	2,309	2,288
売上原価及び営業費用	2,011	2,018
売上総利益	298	269
販売費及び一般管理費	86	95
営業利益	211	174
営業外収益	71	72
営業外費用	105	106
経常利益	177	140
特別利益	—	52
特別損失	0	1
税引前当期純利益	177	191
法人税、住民税及び事業税	29	26
法人税等調整額	△5	△7
当期純利益	153	172

株主資本等変動計算書 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金									
				退職積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金							繰越利益剰余金
当期首残高	525	2	131	197	2,939	1,146	3,830	△1,200	7,571	75	△38	37	7,608
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△51	—	△51	—	—	—	△51
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△40	△40	—	—	—	△40
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	△5	95	90	—	—	—	90
当期純利益	—	—	—	—	—	—	172	—	172	—	—	—	172
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—	△39	—	39	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△45	10	△35	△35
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△39	—	154	54	169	△45	10	△35	134
当期末残高	525	2	131	197	2,900	1,146	3,984	△1,145	7,741	30	△28	1	7,743

主な事業所

●不動産ビル

大和王子ビル	東京都北区豊島5丁目2番1号
大和銀座一ビル	東京都中央区銀座1丁目13番4号
木村ビル	東京都中央区銀座1丁目13番5号
十一屋ビル	東京都中央区銀座1丁目13番5号
名古屋木場ビル	東京都江東区木場1丁目4番12号
藤和東神田ビル	東京都千代田区東神田1丁目23番4号
アルテビル東神田II	東京都千代田区東神田2丁目6番9号
ビルサイドスクエア	東京都豊島区高田3丁目37番10号
テラス銀座	東京都中央区銀座1丁目13番9号
テラス日本橋	東京都中央区日本橋本町1丁目8番3号
テラス亀戸	東京都江東区亀戸1丁目25番14号
テラス浦安	千葉県浦安市北栄4丁目27番20号
テラス府中	東京都府中市矢崎町2丁目27番1号
テラス弥生町	東京都板橋区弥生町11番1号
メゾン大島イースト	東京都江東区大島1丁目1番13号
メゾン大島パーサイド	東京都江東区大島1丁目1番11号



●ビルサイドスクエア
東京都豊島区高田3丁目



●名古屋木場ビル
東京都江東区木場1丁目

●関連会社

大和物産株式会社

住所 東京都江東区白河1-5-16

大和自動車株式会社

住所 東京都江東区猿江2-16-27

大和工機株式会社

住所 山梨県笛吹市一宮町東原865

大和自動車王子株式会社

住所 東京都北区豊島5-1-32

株式会社スリーディ

住所 東京都中央区銀座1-13-5

大和交通保谷株式会社

住所 東京都西東京市泉町3-12-18

大和自動車交通羽田株式会社

住所 東京都大田区昭和島2-4-4

大和自動車交通江東株式会社

住所 東京都江東区猿江2-16-27

大和自動車交通立川株式会社

住所 東京都立川市富士見町1-25

大和自動車交通ハイヤー株式会社

住所 東京都中央区銀座1-18-2

銀座営業所 東京都中央区銀座1-18-2

日比谷営業所 東京都千代田区日比谷公園1-2
(日比谷自動車駐車場内)

中央福祉営業所 東京都中央区銀座1-13-5

日本自動車メーター株式会社

住所 東京都江東区猿江2-16-31



●藤和東神田ビル
東京都千代田区東神田1丁目



●テラス弥生町
東京都板橋区弥生町



●アルテビル東神田II
東京都千代田区東神田2丁目

株式の情報

●株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,250,000株
株主数	1,010名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新倉文明	422	9.80
東都自動車株式会社	379	8.80
太陽生命保険株式会社	375	8.69
吉田満	316	7.33
第一生命保険株式会社	275	6.38
安田一	150	3.48
新倉眞由美	140	3.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口)	135	3.14
株式会社三井住友銀行	130	3.01
株式会社白亜	128	2.97

ホームページのご紹介



当社グループのさまざまな情報はこちらでもご覧いただけます。

<https://www.daiwaj.com/>

会社概要

●会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	大和自動車交通株式会社
創業	1939年9月13日
設立	1945年1月1日
資本金	525,000,000円
主な事業内容	不動産事業 福祉・介護事業 ※ハイヤー・タクシー事業は関連7社が行っています。
従業員数	2,117名 (連結)

●役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	前島 忻治
専務取締役	大塚 一基
専務取締役	齋藤 康典
取締役	加藤 雄二郎
取締役	新倉 眞由美
社外取締役	田中 明夫
社外取締役	田村 泰朗
常勤監査役	小林 幸雄
社外監査役	鐵 義正
社外監査役	若槻 治彦